

学習指導要領		北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>A 話 す こ と ・ 聞 く こ と</p>	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>目的や場に応じて、わかりやすく適切な言葉で話したりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容に関するスピーチで、何のために誰に向かって話すのかを考え、適切な大きさで言葉を選んで話すことができる。</li> </ul> <p>自己評価や相互評価を通して、自分の話し方や言葉遣いを見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気づくことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や場に応じた語句の使い方について、自己や他者の良い点、直すべき点に気づくことができる。</li> </ul>

学習指導要領		北豊島工業高校 学カスタンダード
B 書 く こ と	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>誰に向かって何のために書くのか考え、題材や文章の形態にふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた題材に即して、自分が考えていることを的確に表現できる。</li> </ul> <p>説明や描写の違いなどを知り、相手や目的を意識した表現の仕方を書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事実や事柄を具体的に説明できる。</li> <li>・手順や理由などを順序だてて説明することができる。</li> </ul>

学習指導要領	北豊島工業高校 学カスタンダード
<p style="text-align: center;">C 読 む こ と</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>	<p><b>【現代文】</b> 文章の形態（小説・評論・随想）における表現の特色を意識しながら読むことができる。 ・小説の表現を音読して味わうことができる。</p> <p><b>【古典】</b> 〈古文〉 比較的平易な文章について、文章の形態の違いを知り、表現技法や語句の使い方に注意して読むことができる。 ・歴史的仮名遣いに注意して音読することができる。 ・現代と意味の違う古語に気を付けて読むことができる。 ・物語、随筆などのジャンルの違いを意識して、それぞれの作品を読むことができる。</p> <p>〈漢文〉 ・漢文の基本的なきまり（訓点・再読文字・置き字）に従って音読することができる。 ・漢詩のきまりを理解する。</p> <p><b>【現代文】</b> 文脈を捉え、筆者の考えを読み取ることができる。 ・文章中のキーワードを指摘することができる。 ・文章中の指示語や接続詞を意識して読むことができる。</p> <p><b>【古典】</b> 比較的平易な文章を傍訳などの助けを得ながら、読み取ることができる。 〈古文〉 ・古文と現代文の違いを意識しながら、文章を読み取ることができる。 〈漢文〉 ・訓点や助字、置き字（而・於）に注意して、文章を読み取ることができる。</p> <p><b>【現代文】</b> 登場人物を押さえ、行動や性格、心情の変化を捉えることができる。 小説などで、 ・各場面で登場人物の言動や心情などを読み取ることができる。</p>

学習指導要領	北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p> <p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>	<p>・ 比喩表現から状況や心情を捉えることができる。</p> <p>【古典】 比較的平易な文章の場面や人物を押さえ、誰がどうしたという流れを読み取ることができる。</p> <p>〈古文〉 ・ 人物（誰が）、場面（いつ、どこで）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。 ・ 心情を理解することができる。</p> <p>〈漢文〉 説話文を読んで、 ・ 人物（誰が）、場面（いつ、どこで）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。</p> <p>漢詩を読んで、 ・ 詩に読まれた心情を読み取り、人生について考えを深める。</p> <p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、自分の考えをもつことができる。</p> <p>・ 読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り利用することができる。 ・ 読んだ文章を評価することを通して、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。</p>

学習指導要領	北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項                      (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項                      (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p>	<p>日本の伝統的な言語文化について基本的な事柄を知り、また外国の文化の影響に気付くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な古典知識（月の異名、十二支など）を知る。</li> <li>・中国の文字や書物の影響のうち基本的なもの（故事成語など）を知る。</li> </ul> <p>基本的な文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣いを理解する。</li> <li>・訓点や基本的な再読文字（未・将など）、置き字（於・而など）、句法（否定・使役など）について理解し、訓読したり書き下し文に改めたりすることができる。</li> </ul> <p><b>【現代文】</b>                      語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて基本的な事柄を知り、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について基本的な事柄に気付き、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熟語の構成における主述関係や修飾、被修飾の関係などを理解する。</li> </ul> <p><b>【古典】</b>                      言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について基本的な事柄を知る。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読むことができる。</li> <li>・基本的な古今異義語（うつくし・をかしなど）の意味の違いを知る。</li> </ul>

学習指導要領		北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p>	<p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p> <p>ウ 漢字に関する事項</p> <p>(ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p><b>【現代文】</b></p> <p>文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて基本的な事柄を知り、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較的平易な文章について、語句の意味・用法を理解する。</li> </ul> <p>常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表（中学校3年間で学習する漢字）1013字を書くことができ、文章の中で使うことができる。</p>

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
(1) 私たち時代の歴史	<p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。</p> <p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。</p>	<p>卒業後、職業人として求められる基礎教養として、近現代史を中心に学習し、現代日本との結び付きに気付くことで、自らが歴史の当事者であることを自覚させる。</p> <p>[近代以前の歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古代から近現代までの各時代の特色を知り、近現代までの大きな流れを理解させる。食文化などの身近な例から、現代を生きる我々の文化やものの考え方が、歴史的に形成されたものであることに気付く。</li> </ul> <p>[明治維新]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国船の来航による幕藩体制の動揺と、経済的・文化的に力を蓄える庶民層の変化を知り、双方が日本の近代化の基盤となったことを知る。</li> <li>ペリーの来航により開国し、日米修好通商条約が締結されたが、その内容が不平等であったことを知る。</li> <li>開国後、国内に尊皇攘夷派と公武合体派の対立があったことを知るとともに、政情不安の中、民衆がどのような意識を持っていたのかを知る。</li> </ul> <p>[近代国家の確立]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>明治政府が富国強兵をスローガンに、中央集権化を図る背景を国際的事情から考察する。</li> <li>明治維新の諸改革による士族層の没落が、士族反乱や自由民権運動につながったことを知る。</li> <li>大日本帝国憲法の制定により、欧米諸外国以外で初めて立憲体制が整備されたことを知る。</li> </ul>
(2) 近代の日本と世界	<p>ア 近代国家の形成と国際関係の推移</p> <p>(ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や分化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。</p> <p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に注目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。</p> <p>イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢</p> <p>(ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>	<p>[対外関係の変化と政党政治の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>明治政府が不平等条約改正に至った、国内的要因と、国際的背景を知る。</li> <li>日清・日露戦争の背景と経過を理解し、日露戦争の勝利が、被植民地国家に与えた影響を知る。</li> <li>国内で、民衆運動が政治を動かしたことを理解する。</li> </ul> <p>[近代産業の発展と社会運動の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の産業革命が、政府主導であることや、繊維工業から技術革新が始まったことを知る。</li> <li>工業化の発展により、公害や貧富の差など、さまざまな社会問題が発生したことを知る。</li> </ul>

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。</p> <p>ウ 近代の追究 近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を育てる。 第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、現代の諸課題と近現代の歴史との関連を重視して考察させる。</p> <p>ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p> <p>イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>(3) ウ 現代からの探究 現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身につけさせる。内容の(2)のウ及び(3)のウについては、資料を活用して歴史を考察したりその結果を表現したりする技能を高めること。</p>	<p>[国民生活の変化と文化]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明治・大正時代移行期の国民の生活の変化を知る。</li> </ul> <p>[第一次世界大戦と日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本が第一次世界大戦を契機として国際社会で地位を高めたことを知る。</li> <li>・ 欧米とアジア諸国に対する外交の特色を知る。</li> <li>・ 対戦景気と工業分野を中心とした経済発展を知る。</li> </ul> <p>[第二次世界大戦と日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恐慌の発生による社会不安の増大と、軍部の台頭の関連を理解する。</li> <li>・ アメリカによる禁輸政策を背景に、日本が南方進出を図り、連合国と開戦した経緯を知る。</li> <li>・ 第二次世界大戦の経過と、日本の敗戦を知る。</li> </ul> <p>[日本の再出発]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦後、日本は連合国軍の占領下にあったことを知る。</li> <li>・ 東京裁判の目的と問題点を知る。</li> <li>・ GHQによる五大改革の概要を知る。</li> <li>・ GHQ草案を基に新たに制定された日本国憲法について、大日本帝国憲法と比較する。</li> <li>・ 西側陣営と東側陣営の対立（冷戦）が始まり、世界が東西対立（冷戦）に巻き込まれたことを知る。</li> <li>・ サンフランシスコ平和条約により、日本が独立を回復したことを知る。</li> </ul> <p>[独立後の政治と対外関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本は軍事面でアメリカに依存しつつ、高度経済成長を遂げて経済大国となったことを知る。</li> <li>・ 高度経済成長により社会構造や家族の携帯が変化したことや、公害などの社会問題の発生を知る。</li> </ul> <p>[現代日本の国民生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雇用状況の変化と格差社会の出現について知る。</li> <li>・ 国際社会の中で、日本が経済大国としてさまざまな分野で期待されていることを理解する。</li> </ul>	

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(1) 化学と人間生活</p>	<p>ア 化学と人間生活とのかかわり</p> <p>(ア) 人間生活の中の化学 日常生活や社会を支える物質の利用とその製造の例を通して、化学に対する興味・関心を高めること。</p> <p>(イ) 化学とその役割 日常生活や社会において物質が適切に使用されている例を通して、化学が果たしている役割を理解すること。</p> <p>(ウ) 熱運動と物質の三態 粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解すること。</p> <p>イ 物質の探究</p> <p>(ア) 単体・化合物・混合物 物質の分離・精製や元素の確認などの実験を通して、単体、化合物及び混合物について理解するとともに、実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付けること。</p> <p>ア 物質の構成粒子</p> <p>(ア) 原子の構造 原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解すること。</p> <p>(イ) 電子配置と周期表 元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金属の性質・プラスチックの利便性について理解する。</li> <li>・プラスチックの密度や燃焼の観察実験を行い、他のプラスチックの種類を調べる。</li> <li>・日常生活における化学製品・化学物質について学ぶ。</li> <li>・セッケンをつくり、合成洗剤との違いを理解する。</li> <li>・状態変化は物質の熱運動によって変化することを学ぶ</li> <li>・セルシウス温度と絶対温度との関係を理解させる。</li> <li>・混合物と純物質について理解する。</li> <li>・蒸留の実験を通して、混合物の分離に関する基本的な操作を学ぶ。また、基本的なグラフの作成について学ぶ</li> <li>・原子を構成する基本的な粒子について理解する。</li> <li>・同位体は原子番号が同じで質量数が異なることを理解する。</li> <li>・周期表1～20番までの電子配置をかくことができる。</li> <li>・原子の電子式をかくことができる。</li> </ul>

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
(2) 物質の構成	<p>イ 物質と化学結合</p> <p>(ア) イオンとイオン結合 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解すること。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解すること。</p> <p>(イ) 金属と金属結合 金属結合及び金属の性質を理解すること。</p> <p>(ウ) 分子と共有結合 共有結合を電子配置と関連付けて理解すること。また、分子からなる物質の性質を理解すること。</p> <p>ア 物質と化学反応式</p> <p>(ア) 物質質量 物質質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンの電子配置をもとに陽イオン、陰イオンのでき方を理解する。</li> <li>・イオン式を覚える。</li> <li>・陽イオンと陰イオンの間に静電気的な引力がはたらくことを理解する。</li> <li>・イオンからなる物質を組成式であらわせるようにする。</li> <li>・陽イオンと陰イオンの間に静電気的な引力がはたらくことを理解する。</li> <li>・イオンからなる物質を組成式であらわせるようにする。</li> <li>・金属結合には、自由電子が関わっていることを理解する。</li> <li>・金属結晶は組成式で表されることを理解する。</li> <li>・合金を作成する実験を行い、金属の性質について理解を深める。</li> <li>・分子を理解する。</li> <li>・共有結合は不対電子を出し合って対をつくることで形成されることを理解する。</li> <li>・分子の電子式と構造式をかけるようにする。</li> <li>・分子の構造は様々なものがあることを理解する。</li> <li>・極性をもとに、物質の性質を理解する。</li> <li>・相対質量について理解する</li> <li>・相対質量はCの質量を12としていることを理解する。</li> <li>・分子量、敷料を原子量から確実に求められるように演習を通して理解する。</li> <li>・1mol が <math>6.02 \times 10^{23}</math> の集まりであることを理解する。</li> <li>・分子量・式量を計算できるようにする。</li> <li>・気体の 1mol は標準状態で 22.4L であることを理解する。</li> </ul>

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(イ) 化学反応式 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解すること。</p> <p>イ 化学反応</p> <p>(ア) 酸・塩基と中和 酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解すること。</p> <p>(イ) 酸化と還元 酸化と還元が電子の授受によることを理解すること。また、酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解すること。</p> <p>(3) 物質の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学反応は原子の結びつきが変化することを理解する。</li> <li>・化学反応式の係数を求められるようにする。</li> <li>・化学反応式と粒子の数、質量、気体の体積の関係を計算で求められるようにする。</li>   <li>・アレニウスの定義による酸・塩基の分類を理解する。</li> <li>・代表的な酸、アルカリの電離式をかけるようにする。</li> <li>・酸とアルカリの反応を中和とよぶことを理解する。</li> <li>・中和によってできる物質が水と塩であることを電離式を踏まえて説明できるようにする。</li>   <li>・酸化還元反応の定義を理解する。</li> <li>・酸化数を計算できるようにする。</li> <li>・酸化数の増加減少から、酸化還元反応を理解する。</li> <li>・代表的な酸化剤と還元剤の半反応式をかけるようにする。</li> <li>・金属のイオン化傾向を覚える。</li> </ul>	

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
(1) 人 と 技 術 と 環 境	ア 人と技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業技術の発展が、人々に与えた効果や影響を説明できる。</li> <li>作品を製作（制作）する上で、様々な発想技法を活用することができる。</li> </ul>
	イ 技術者の使命と責任	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験・実習中の事故防止のための方法を具体的に説明できる。</li> <li>実験・実習報告書に必要な項目を記入し、期限までに提出することができる。</li> </ul>
	ウ 環境と技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物の分類を通して、材料の特徴や再利用の方法を理解する。</li> </ul>
(2) 基 礎 的 な 加 工 技 術	ア 形態を変化させる加工	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料の特徴とその加工法を理解する。</li> <li>質量、容量、寸法などを測定する機器や器具の正しい使用方法を理解する。</li> <li>手仕上げの基礎的な作業を理解し、加工することができる。</li> </ul> <p>&lt;機械系の加工&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金属材料等の加工の内容を理解し、加工に応じた工作機械を選択することができる。</li> <li>溶かした金属を型に流し込み、製品ができることを理解する。</li> <li>アーク溶接の原理及び安全に作業ができる操作手順を理解する。</li> </ul> <p>&lt;電気・電子・情報技術の加工&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>部品や材料を工具と機器を活用して加工する方法を理解する。</li> <li>屋内配線の製作を通して、電線材料の種類、構造及び特徴を理解するとともに、工具を適切に取り扱うことができる。</li> <li>正しい半田付けの手順を理解し、きれいに半田付けができる。</li> </ul>
	イ 基礎的な分析及び測定技術	<p>製品を製作するために必要な工具や道具を一覧にすることができる。</p> <p>&lt;機械系の技術&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>製作図面から、その加工法を理解することができる。</li> <li>CADを使い、作図から製品完成までを理解することができる。</li> </ul> <p>&lt;電気・電子・情報技術系の技術&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図面に従い組立や配線ができる。</li> </ul> <p>&lt;機械系の分析及び測定技術&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノギスを適切に用いて、直径・内径・幅・深さなどを測定することができる。</li> </ul> <p>&lt;電気・電子・情報技術系の分析及び測定技術&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電圧計、電流計の動作原理と接続方法を理解する。</li> </ul>
	ア 生産の流れと技術	<p>製品を製作するために必要な工具や道具を一覧にすることができる。</p> <p>&lt;機械系の技術&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>製作図面から、その加工法を理解することができる。</li> <li>CADを使い、作図から製品完成までを理解することができる。</li> </ul> <p>&lt;電気・電子・情報技術系の技術&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図面に従い組立や配線ができる。</li> </ul> <p>&lt;機械系の分析及び測定技術&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノギスを適切に用いて、直径・内径・幅・深さなどを測定することができる。</li> </ul> <p>&lt;電気・電子・情報技術系の分析及び測定技術&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電圧計、電流計の動作原理と接続方法を理解する。</li> </ul>